

平成23年11月24日

横浜市環境創造局長  
萩島 尚之 様

横浜市下水道事業包括的管理委託  
総合評価審査委員会

委員長	長岡	裕
委員	池田	陽子
委員	稲員	とよの
委員	櫻井	克信
委員	中村	博之

金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託における  
落札候補者の選定結果について

標記について、平成23年11月24日、横浜市下水道事業包括的管理委託総合評価審査委員会におきまして別紙のとおり審査を行ないましたので、その結果を報告いたします。

## 1 本事業の概要

環境創造局金沢水再生センター前処理施設では、現在、運転管理業務を仕様発注方式による一般競争入札で実施していますが、より一層の運転管理業務の効率化を図るため、平成 24 年度から 4 年間の「包括的管理委託」を行ないます。

### (1) 件名

金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託

### (2) 履行場所

福浦工場排水処理場 ほか 1 か所

### (3) 履行期間

平成 24 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで（4 か年）

ただし、以下を引継期間とする。引継期間の経費は落札者の負担とする。

平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

## 2 審査方法等

### (1) 事業者選定の方法

価格だけではなくその他の条件（公共施設等の機能性、公共サービスの水準等）も加味し、総合的に勘案して落札者を決定するため、「総合評価一般競争入札方式」による事業者選定を行った。総合評価一般競争入札とは地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2 に規定された契約方式である。

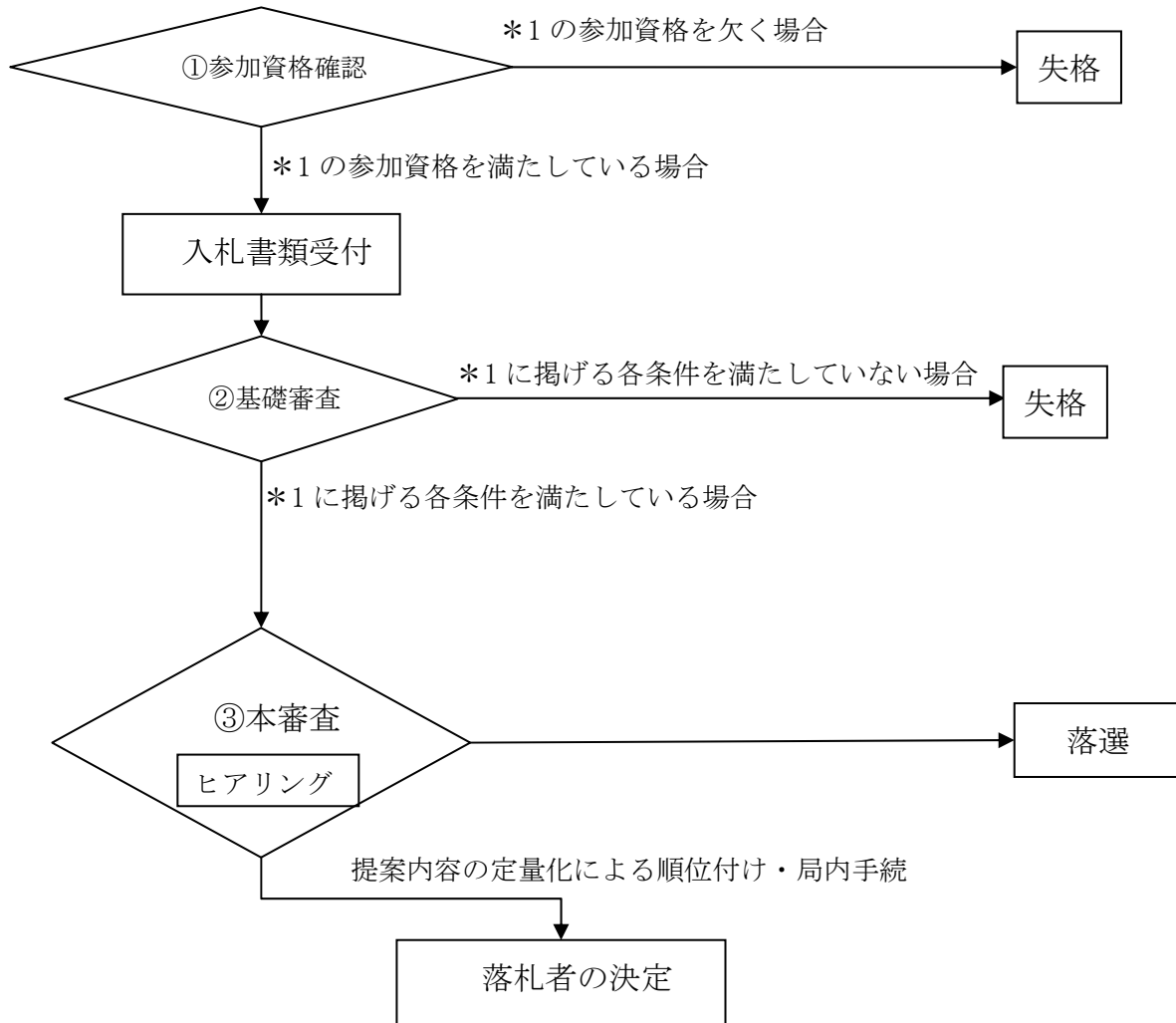
### (2) 審査委員会

民間事業者の選定に当たり、公平性、透明性に配慮した上で、委託料だけでなく民間事業者の技術提案を考慮して適切な事業者の選定を行うため、下記の学識経験者等で構成される「横浜市下水道事業包括的管理委託総合評価審査委員会」を設置した。審査委員会を構成する委員は、次のとおりである。（敬称略）

委員長	長岡 裕	東京都市大学 都市工学科教授
委員	池田 陽子	明大昭平・法律事務所 弁護士
委員	稲員 とよの	首都大学東京 都市環境学部教授
委員	櫻井 克信	一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会 専務理事
委員	中村 博之	横浜国立大学 経営学部会計・情報学科教授

### (3) 事業者選定の流れ

落札者の決定までの選定手順は、次のとおりである。



\*1：金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託評価方法及び落札者決定基準に記載されている条件

### (4) 提案評価

質に関する評価点は、(ア)に示す評価項目ごとに、(イ)に示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は落選とする。

## (ア) 評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容
実施方針	前処理施設の特性を十分に理解しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に対する理解度</li> <li>・確実な処理</li> </ul>	50	前処理施設の性格理解
				工場排水の処理実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ
				利用企業へのアカウンビタリティ
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。	人員配置	60	適正な人員配置、有資格者の配置、教育研修体制
				更新施設の安定稼動に向けた対応及び協力体制
		マネジメント	70	鳥浜第一、福浦に対する統一的な管理体制
				降雨による流量増加に対する応援体制（鳥浜第一）
引継ぎ時の協力体制	60	薬品、油脂類、材料等の適正な調達管理		
		埋立基準に適合した汚泥処理		
運転管理計画	運転管理方法は妥当なものか。 セルフモニタリングは機能するか。	運転計画、 水質管理	65	施設全体の運転、処理状況の把握と管理
		汚泥管理		流入量及び水質変化の対応方法 汚泥ケーキ発生量低減の考え方
維持管理計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は、施設の管理を委ねるのに適切か。 安全、防犯、環境等に配慮した計画となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検、軽微な修繕</li> <li>・保守整備</li> <li>・安全、防犯、環境等への配慮</li> </ul>	75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速かつ、適切な修繕の考え方</li> <li>・適正な日常点検と定期点検、保守整備の考え方</li> <li>・水質計器等の適正な管理</li> <li>・安全、防犯等への取組み</li> <li>・省エネルギーへの対応</li> </ul>
				緊急時の対応
リスク管理	施設の特性を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する対応体制は適切か。	緊急時の対応	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者の創意工夫による追加的な提案</li> <li>・地域活性化や、本事業に対する高度な提案</li> </ul>
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	優れた提案	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者の創意工夫による追加的な提案</li> <li>・地域活性化や、本事業に対する高度な提案</li> </ul>
合計			500	

(イ) 加算点の点数化方法

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点) × 1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点) × 0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点) × 0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点) × 0.0

### 3 事業者選定の経緯

本事業における契約交渉者選定までの主な経緯は以下のとおりです。

平成 23 年 5 月 16 日	第 1 回審査委員会 (総合評価一般競争入札の実施と落札基準の決定)
平成 23 年 6 月 7 日	入札公告
平成 23 年 6 月 8 日～6 月 30 日	現場説明 (9 者)
平成 23 年 7 月 13 日	・ 入札参加資格確認書提出期限 提出者 : ①明電環境サービス株式会社 ② J F E 環境サービス株式会社
平成 23 年 7 月 20 日	入札参加資格確認結果の通知
平成 23 年 8 月 3 日	・ 入札 (書類受付) 入札者 : ①明電環境サービス株式会社 ② J F E 環境サービス株式会社
平成 23 年 10 月 17 日	第 2 回審査委員会
平成 23 年 11 月 24 日	第 3 回審査委員会 (落札候補者決定)
平成 23 年 11 月 28 日	落札者決定 (環境創造局第一委託業者選定委員会)
平成 23 年 12 月上旬	契約締結

### 4 応募状況

以下の 2 者から応募があった。

明電環境サービス株式会社

J F E 環境サービス株式会社

### 5 審査結果

#### (1) 参加資格確認

入札説明書第 6 項(1)から(2)に示す事項について確認した結果、入札参加資格を有していることを確認した。

(2) 基礎審査結果

落札者決定基準の第3項に基づき基礎審査を実施した結果、入札書類の提出のあった2社とも入札価格が予定価格(5億7,600万円、消費税及び地方消費税相当額を除く)の範囲内であった。

入札者	入札価格(円)
α社	570,240,000
β社	576,000,000

(3) 本審査結果

本審査は、加算方式による評価を行う。総合評価点は1,000点満点とし、価格に関する配点を500点、業務提案書の質に関する配点を500点とした。

総合評価点(1,000点満点) = 価格に関する評価点(500点満点) + 質に関する評価点(500点満点)

ア 価格審査結果

価格に関する評価点は次式のとおりに計算した。

価格に関する評価点 = (最低応札価格) / (応札価格) × 500

入札者	入札価格(円)	価格に関する評価点(点)
α社	570,240,000	500
β社	576,000,000	495

イ 提案書審査結果

審査委員5名による提案内容に関する審査を行った結果は以下のとおりである。

評価項目	配点	α社	β社
実施方針	50	37.50	50.00
業務実施体制	130	97.50	112.50
運転管理計画	125	93.75	125.00
維持管理計画	75	56.25	75.00
リスク管理	70	52.50	70.00
独自提案	50	37.50	37.50
合計	500	375.00	470.00

## ウ 総合評価結果

価格審査、提案書審査を踏まえ、総合評価方式による本審査の結果は以下のとおりである。

審査項目	配点	α社	β社
価格審査	500	500	495
提案書評価	500	375	470
合計	1,000	875	965

## エ 審査講評

評価項目	講 評
実施方針	両社とも企業特性を活かし、施設の役割を十分理解している。特にβ社は、当該施設の詳細に把握しており、事業運営について具体的に説明できている。
業務実施体制	両社とも適切な人員配置がなされ、有資格者についても十分な数が配置されている。β社は、経験豊富な者を配置する予定であり、安定した管理が期待できる。 なおβ社は、引継ぎ時の協力体制について記載が乏しいため、協力体制を構築し、円滑な引継ぎを望みたい。
運転管理計画	α社は、本社での検討会の実施が評価できるが、運転管理のポイントの記述は一般的なものに留まっている。 β社は、降雨時の水質変化など現場の特性を理解した計画となっており、施設の特徴を把握した対応が期待できる。また、汚泥管理についても、汚泥処理方法が具体的に記載され、モニタリング計画も評価できる。
維持管理計画	両社とも十分な維持管理を計画している。特にβ社は、きめ細やかな点検管理方法が示され、明確に記載されており評価できる。
リスク管理	両社とも十分なリスク管理計画を提案している。 特にβ社は、対応策がわかりやすい形で記載され、その内容も具体的で迅速な対応手順が示されている。
独自提案	両社ともに積極的な提案がなされ、内容も優れている。

## オ 落札候補者の決定

入札説明書に定める審査を実施し、以下のとおり、落札候補者として決定する。

第一落札候補者：β社【JFE環境サービス株式会社】

第二落札候補者：α社【明電環境サービス株式会社】